

## 18の講義内容 かな文字だけの文章

## かなの文字

かな文字には二種類あって、カタカナとひらがなという文字を総称して云います。たとえば、書物の名前にも『仮名書き論語』『仮名書き法華經』といった資料が存在するからです。この反対が「まな【真名・真字】」であり、こちらも真字本『伊勢物語』真字本『曾我物語』と呼称しています。実際、「仮名書き」と冠りした書物の内容を御覧に入れることにしましょう。

## A 『仮名書き論語』

しのゝたまふく「くんしはひろくぶんをまなんで やくするにれいをもつてす 又もつてそむかざるべし」〔六一―25〕

## B 『仮名書き法華經』

○かくのごときことを、われ、きゝたまへりき。「如是我聞」

○そのとき、ほとけ、眉間の白毫相のひかりをはなちて、東方万八千の世界をてらしたまふに、周遍せずといふことなし。「爾時仏放眉間白毫相光。照東方万八千世界。靡不周遍」

Aは、ほとんどの文字がかな書きされていますが、Bになりますと、書き出しはかな書きですが、本文中には、多くの漢字表記が用いられています。ですが、ここに傍訓かなが添えられているのが特徴だと言えます。

次に紹介するのは、明治六年（一八七三）二月十五日「まいにち ひらがな しんぶん」〔啓蒙社創刊〕、半紙二つ折り三枚綴りで、表紙の年号と発行所名と本文では数字の他は、全部ひらがな表記になっているものです。冒頭の発行の趣意文を見ますと、

この しんぶんし を すり いだす には そもそも ふたつ の おもむき あり  
ひとつ には まいにち の おふれ を はじめ くにうち は まうす までも なく  
せかいぢう の にちにち うつり かわる ありさま まで かき つづり あまねく  
をんな こども にも みせて くに の ひらけ すすむ を たすくる ため ふたつ  
には わが くに は ことばまなび の くに なれ ば かずおほく して まなび  
がたき からのもの は なく ても ひらがな 五十じ さへ あれば よろづ の こと  
に すこし も さしつかへ なき こと を あまねく ひとびと に しらせ この のち  
おほひ に わが くにことば の がくもん を おこす ため に すり いだす  
しんぶんし なれ ば ……

と、かな書きの新聞紙のはじまりに相応しい書き出しとなっております。読みやすくするために、「分かち書き」を採用し、仮名書きでもわかる工夫としては、「国内」を「くにうち」、「言語学習」を「ことばまなび」「漢字」を「からのもの」「国語」を「くにことば」などと、漢語を和語に置き換えて表現する苦心の意図が見えていることに気づかされます。

この「かな文字新聞」の推進者、前島密（一八三五―一九一九）：天保六年越後生まれ、明治の初年民部省、大蔵省出仕しとなり、後元老院議員、明治三十五年（一九〇二）男爵授位、大正八年に八十五歳で逝去）でした。この時代、前島密一人が「かな文字論」を展開したではありませんで

た。明治七（一八七四）年五月「明六雑誌」に載った清水卯三郎「平仮名ノ説」、化学書「ものわりのはしご」の出版が同じ動きを示しています。

### 仮名遣いが見えてくる

なぜ、「かな文字」が日本人の書記活動において必要であったのか、また、なぜ廃れていったのかを考える材料に、「かなづかい」が潜んでいることに気づく必要があるでしょう。「仮名遣い」の間違いやすいコトバを例にみておきましょう。

◆「いいなづけ」と「いいなづけ」どちらが正しいか？

漢字表記【許嫁・許婚】親同士の合意で幼い子どもの婚約すること。また、その当人同士。当世風には、「フイアンセ」

「言い名尽く」という動詞が元で、用例としては、室町時代の『太平記』に「既に人の言ひ名付けて事定まりたる中をさけて、人の心を破るらん」とか江戸時代の読本『南総里見八犬伝』に「吾儕わなみには苟かりそめにもいひなづけたる良人はなし」と用いています。

◆「いずこ」と「いづこ」どちらが正しいか？

漢字表記【何處・何処】

佐藤春夫『カリグラム』（図形諷刺文）に、

尋ね人新聞広告文案（雪子を尋ねる）

のこぞ雪いまづ（春）

と云った作品があつておわかりいただけるでしょう。これに対し、文語調詩歌『明月赤城山』には、♪渡る雁がね乱れて啼いて明日はいずこのねぐらやら…」と用いています。

こうした「ず」と「づ」、「じ」と「ぢ」の語は、調べてみると、「いずれ」と「いづれ」「いちじく」と「いちぢく」「いやだわ」と「いやだは」「うなずく」と「うなづく」「かたずく」と「かたづく」「きずく」【築】と「きづく」【気付】「きずな」と「きづな」「こじんまり」と「こぢんまり」「こづく」と「こづく」「さかずき」と「さかづき」「さしずめ」と「さしづめ」「舌つずみ」と「舌つづみ」「じぬし」と「ぢぬし」「しゅうじやく」と「しゅうぢやく」「しんじゅう」と「しんぢゅう」「じんずうりき」と「じんづうりき」「じんちようげ」と「ぢんちようげ」「ずくめ」と「づくめ」「つづつ」と「つづつ」「世界じゅう」と「世界ぢゅう」「たずな」と「たづな」「力づく」と「力づく」「ちぢむ」と「ぢぢむ」「つくづく」と「つづく」「つづく」と「つづく」「つづまやか」と「つづまやか」「つづみ」と「つづみ」「つづらおり」と「つづらおり」「つづる」と「つづる」「つまずつ」と「つまずつ」「でずつぱり」と「でづつぱり」「てなずける」と「てなづける」「とんじやく」と「とんぢやく」「にくずき」と「にくづき」「ぬかずく」と「ぬかづく」「はなじ」と「はなぢ」「ひずめ」と「ひづめ」「ほうじよう」と「ほうぢよう」「まず」と「まづ」「みずから」と「みづから」

「むずかしい」と「むづかしい」「もとずく」と「もとづく」「ゆうずう」と「ゆうづう」といった語があります。

また、伸ばす音はどうでしょうか？「おう」「おお」「おー」「おぐ」は、どれが正しいでしょうか？



うるぎ【蟋蟀】。「こおり」と「こうり」【氷】。「とどこおる」と「とどこうる」【滞】。

詰まる音はどうでしょうか？「しきけん」と「しっけん」【識見】：【石器】【學校】【吉報】【突発】【法主】など。「じっかい」と「じゅっかい」。

このように掲げてみると、多くのことばが「かな書き」にすることでことばの本質部分が表出してくるようになります。「かな書き」は、漢字で書くのと大違い、ことばの根源が明確に現れてくることとなります。そこで、実際に、ご自身で、上記のことばを考慮しながら「かな書き」の文章をお書きになってみては如何なものでしょうか。

さては、腕試し // 仮名遣い力 //

次に、ことばの仮名遣い力を試してみよう！

問題一 次の文中傍線部の語に読み仮名をつけてみましょう。

- 1 身近な素材をヒントに、凶案を考える。
- 2 鬼灯提燈を笹につけ、七夕祭りは新妻と二人。
- 3 常々の会話に一本調子であることに気付く。
- 4 葛籠を背負って生け垣伝いに歩き出す。
- 5 新幹線「のぞみ」号は、東京・大阪間を三時間で走行した。
- 6 怖い物、「地震・雷・火事・親父」って云うが洪水はない。

問題二 次の文には、仮名遣いの誤りがあります。正しく訂正しましょう。

- 1 降ったは降ったは、床上浸水する大雨が九州地方を襲った。
- 2 髪をいうときに、ぐずぐずゆうのわいけない子だよ。

問題三 括弧内の漢字を用いて、次の語に送りがなを付けましょう。

- 1 希望者は、意外にもスクナカッタ【少数】。
- 2 肌触りのヤワラかな生地を用いている【柔和】。
- 3 ちよつとナナメヨコを向いて見て【斜横】。
- 4 ココロザシを立てて、勉学に励む【志】。
- 5 何がサイワイするか分からないのが世の常だ【幸】。

問題四 次の傍線部の片仮名を字体に留意しながら漢字に書き改めてみましょう。

- 1 この商品は、定カ百円です。

- 2 難問に自信ソウ失している。
- 3 蝦ゾの国に向いた和人。
- 4 各種セン門学校に通う。
- 5 賢エキ会社に入社した。

ところで今現在、かな書きだけの文章は誌上には出回っているのだろうか、インターネットでの文字情報はどうでありましょうか。この情報を見付けたら、知っていたら是非お知らせ願います。

たとえば、「ころのやすらぎ」↓「こより」【紙捻】 [koyori](http://koyori.org/) <http://koyori.org/>

不思議な言葉で「うじはと」↓「UjiHato Dialect」 <http://koyori.org/log/dialect>

のなかから「いつもとは全く違ふ、奇妙奇天烈摩訶不思議なお国言葉でお届けしてみます」と言う不思議なことは表現を抜粋してみますと、

Uji ゆくさおぢやつたもんせ！

Hato いけんでんかげんでん…

Uji たちんこんめうんまおー！

Hato なんつあならん…

Uji まこてめいによんごひんごしつせずんだれつせ！

Hato なんとんしれん…



と、会話表現の凡てを漢字表記のことはを交えずに平仮名書きにしています。鹿児島方言を知っていれば理合可能な日本語となるのですが、これが同じ日本人のことはなの？と首を傾げてしまう御仁には、共通語でお読み願うしかありません。この「紙捻」さんは、鹿児島出身の方ですから、このようにいとも容易く、ひらがな表記で二人の会話表現を書いています。ある意味で、言語地理学（方言）のことは表現を見なおす時を迎えているやも知れません。同じように東北のお国ことばも同様なことが味わえます。

この「ウジハト」のホームページでは、『ウジハトで學ぶ假名遣』  
<http://koyori.org/log/properly#EVERYDAY>

と云う教養性のある国語の学習が組まれていたりして身近で知らない日本語学習の入門には打って付くでしょう。そして、描かれる絵も人のこころにやすらぎを与えています。（一枚見本に拝借します、後は凡てご自分で閲覧なさりませ）

### 《気づきの扉》

NHKテレビ番組「大河ドラマ」風林火山の背景音楽などで大活躍中の中国人女性の二胡奏者「チエン・ミン」さん。字幕にはなぜかカタカナ表記文字だけで「チエンミン」と表示されています。本来の漢字表記名である「陳敏」となぜ表示されないのでしょうか？

☆公式サイト <http://www.chennin.net/>